

いわて平泉米だより

いよいよ、平成27年産米の作業が始まります！

万全の準備で進めましょう！

- ★全てのコメについて栽培管理記録簿の記帳を行いましょ。
- ★特別栽培米・限定純情米に係る申込みの確認と薬剤の適正使用に注意しましょ。
- ★生産工程管理について、作業のつど記録する事に努めて下さい。

家族でまず
田植日を決めてネ



作業工程 (一関地方の中苗の場合)

※なるべく加温出芽を行う事。
※無加温出芽の場合は作業開始を5日程度早める。

種もみ準備

種もみ準備



よい
苗づくりは
優良種子の
更新から

10a 当たり乾籾種子量は
3.6kg~4.0kg 必要です。

ポイント

- ① 籾は種子更新したものを全量必ず使用する。(JA米の要件です)
 - ② 厚まきは病害の発生を助長するので行わない。
 - ③ 異品種混入に注意。
- ※当JAから購入以外の籾については品種を証明するものがが必要です。

※卸業者から播種量の確認も求められて来ておりますので必要量を準備しましょ。

塩水選

塩水選と水洗い

病害籾(細菌病、ばか苗、いもち病)、充実不良等を取り除くため、正しい濃度で比重選を実施すること。

【手順】

浮いた籾は捨てる → 塩水をよく切る → 水洗い → 水切り → 浸種へ

(比重選の方法)

種 別	比 重	水 20リットルに対し	
		食 塩	硫 安
うるち(無芒)	1.13	4.2kg	6.2kg
も ち	1.08	2.5kg	3.7kg

ポイント

- ① 塩を溶かすときはぬるま湯を使う。
- ② 比重計を使用し、比重を確認すること。

浸種

浸種(水づけ)

12℃で 8~10日浸漬 15℃で 7~8日浸漬



- 浸種水温が低いと発芽率が低下するので、水温を確保して下さい。
- 2~3日に1回水を交換する。

ポイント

- ① 水づけは水温 12~15℃、積算温度 100~120℃を目安に行う。
- ② 低温で長期間の浸種では発芽率が低下します。また、15℃を超えると、ばか苗の種子感染が助長されるので注意する。
- ③ 水を交換するときは、上下袋の位置を換えるとともに籾を袋の中で良く攪拌する。
- ④ 籾が充分水分をすってアメ色に透けるのを確認するまで浸種を行う。
- ⑤ 浸種容器は、昼間・朝晩の外気温の影響を受けないよう温度変化の少ない場所に設置する。又、寒い時などはシート等で覆い水温の安定を図る。